

特別支援教育のエッセンス Zoom オンラインセミナー

ASD(自閉スペクトラム症)教育 の現状と今後のチャレンジ

主催: フインレック: 後援: たすく株式会社

講師: 齊藤宇開

TASUC(たすく)株式会社 代表

前国立特別支援教育総合研究所主任研究員

2024年11月30日(土)

13:30~17:20

定員: 約 80 ポイント

参加費等: 5,000円

対象: 特別支援教育に興味や関心がある
教員や学生、一般の方々等

事務局: 福岡大学
教育・臨床心理学科 徳永 豊 研究室

申込方法: 詳細は裏ページに
問い合わせは、
福岡大学 徳永研究室
Mail: ytokunaga*fukuoka-u.ac.jp
(*に@を入れて下さい)

主旨: 自閉症教育は、1970年頃に情緒障害教育としてその実践が開始されました。初期の対象となる子どもの多くは、自閉症に知的障害を伴うことが多かったために、自閉症の特性を踏まえた支援には至りませんでした。

その後、2000年頃には、知的障害を伴わない場合を含め、幅広く「自閉スペクトラム症(ASD)」との理解が広がり、知的障害とは異なるASDの特性を踏まえた実践が広がりつつあります。

このASD教育がより充実したものとなるように、その歩みを止めることなく、さらによりよく、前進していく必要があります。

今回は、ASD教育の変遷を確認し、その教育の現状と課題を考えます。ASD支援の専門家である齊藤宇開先生をお迎えし、今後のAS教育の方向を考えるセミナーとしました。

どうぞ参加いただきたくお願いいたします。

特別支援教育のエッセンス オンラインセミナー

ASD(自閉スペクトラム症)教育 の現状と今後のチャレンジ

概要: ASDの特性を踏まえた「構造化」を代表とする教育・指導法の変遷を紹介し、日本におけるASD教育の発展を振り返ります。そして、ASD教育における「学習の基本構造」や支援の重要な「キーポイント」を提案します。そして、これからのASD教育の課題や方向性について考えましょう。

講師: 齊藤宇開 (TASUC(たすく)株式会社 代表)

学生の頃にASDの認知研究、おしまコロニー(社会福祉法人)などで臨床経験(ABA、TEACCH)を積む。国立久里浜養護学校、国立特別支援教育総合研究所で勤務、ASD教育について研究。現職で、早期療育から就労支援まで継続的な支援、家族支援を展開している。『自閉スペクトラム症教育の基本と実践』(慶應義塾大学出版会、2023)、編著など。

13:00～Zoom受付

(グループ分けのために、13:20までに接続してください。)

13:30～15:10 セミナー1 & 協議

ASD教育の変遷と現状、その課題

15:30～17:10 セミナー2 & 協議

ASD教育への「たすく」の実践、そのチャレンジ

(希望者のみ 事後交流会)

申込方法:

・Webページから各自で申し込みください。複数まとめての申し込みはできません。

<https://cubic.com/finlec>

・申込締切は、令和6年11月23日です。ただし定員になり次第、締め切ります。

・プログラムの内容や講師等は変更となる場合がありますので、ご承認ください。

・Zoom接続等の不具合について、こちら側の不備の場合を除いて、参加者の責任となります。

